

派遣経験を生かした教育活動事例

子どもたちに海外への興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

15 - 1 パラグアイ・音楽 永月 明子

1, パラグアイってこんな国 (海外青年協力隊の音楽教師として1年9ヶ月間、赴任)



- ・ 気候 (寒暖の差が激しい。平地。)
- ・ 町の様子 (のんびり、ゆったり)

- ・ 貧富の差が激しい

- ・ 南米の真ん中、アルゼンチンとブラジル、ボリビアに囲まれた内陸国。



- ・ 牛肉が安い。(1kg 180円ぐらい)
- ・ 市場 (何でもある。少し治安が悪い)
- ・ マテ茶セット (テレレ)

2, 派遣経験を生かして

担任を持つ4年生に対して

- ・ 日頃の帰りの挨拶を各国語で (英語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、グアラニー語)
- ・ 授業中での紹介 (旗のクイズ、ニャンドウティドレス、パラグアイハープ体験)・1時間
- ・ 運動会でパラグアイ人、ドミニカ共和国の人 (JICA 研修員) を紹介
- ・ 町の音楽祭りでの企画 (総合を利用して「南米スペシャル」を展開)・35時間



「花祭り」(ボリビア)を演奏

「南米スペシャル」

- ・ 1 「メロディアス デ アメリカ」4 年全 (1 0 8 名) 国旗や国の名物などを調べて作ったプラカードを上げながら歌う
- ・ 2 「花祭り (ポリビア)」1 組 (3 5 名) ポリビアの楽器を使って
- ・ 3 「パラグアイのクリスマス」2 組 (3 6 名)
- ・ 4 「コンドルは飛んでいく (ペルー)」3 組 (3 7 名)
- ・ 5 「ラバンバ (メキシコ)」4 年全 (1 0 8 名) スペイン語で、振り付けもつけて

全校児童に対して

- ・ 朝会を利用してパラグアイの旗のクイズ、ニャンドウティドレス、ハーブのクイズと紹介・20分

教職員に対して

- ・ 津久井郡小学校音楽部研究会においてパラグアイの教育事情、スペイン語の簡単な挨拶、文化 (食べ物、国民性など) ハーブ演奏と体験の講座を持つ・1時間半
- ・ 職員研修会3回 (配属校教員対象15分、湘北地区教員対象45分、神奈川県教員対象25分) でパラグアイの配属校の子どもたちと日本の教え子たちの「笑顔のために」のプロジェクトによる交流とパラグアイの教育事情、文化 (食べ物、国民性など) ハーブを紹介



湘北地区の教員対象の研修会

3 , まとめ

- ・ 写真よりビデオ (現地の授業の様子、祭りの様子など) さらに実物 (ハーブ、衣装、日本でパラグアイ人の友達を作って子どもたちに紹介するなど)
- ・ 衣装があるといい (ダンス、祭りの衣装など) お面やかぶり物も楽しい
- ・ ダンスや現地の楽器、現地の料理などを習ってみては
- ・ 日本に戻ってから地域の国際行事にアンテナを張ろう